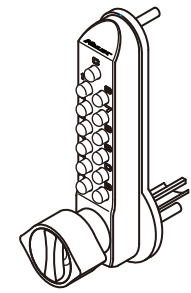
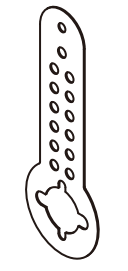

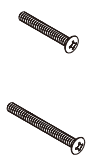

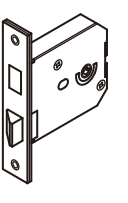
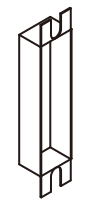







玉座取替 タテ付け仕様 切欠き・取付説明書

このたびは NAGASAWA 製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。製品を正しく施工していただくために、本説明書の内容をご確認ください。引渡し時に、別紙取扱説明書（お施主様向）を、お施主様へお渡しください。

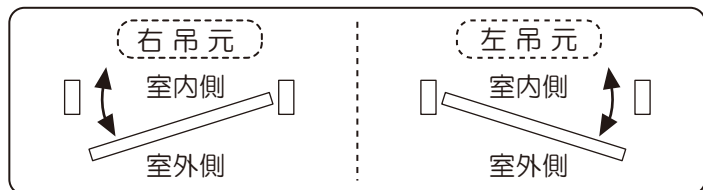
梱包内容一覧・表を参照のうえ、部品の有無をご確認ください。

								⑨ ⑩ ⑪は仮組みの状態で梱包してあります。 ⑩を反時計回りに回し、取り外します。					
①キーレックス本体 1	②ゴムプレート 1	③室内押え座 1	④丸皿小ねじ L=30・40 各1	⑤取説 set 1	⑥錠 (フロント板固定済) 1	⑦トロ箱 1	⑧受座 1	⑨室内側握り玉 1	⑩室内側取付板 1	⑪皿小ねじ L=25 2	⑫丸座固定レンチ 1	⑬皿小ねじ L=20 2	⑭皿コンビねじ L=20 4

取付手順

【 1：扉の吊元位置を確認してください 】

下図で扉の吊元を確認します。右吊元時は【2】に進んでください。
左吊元時は、右欄：左吊元への変更手順に沿って変更してください。

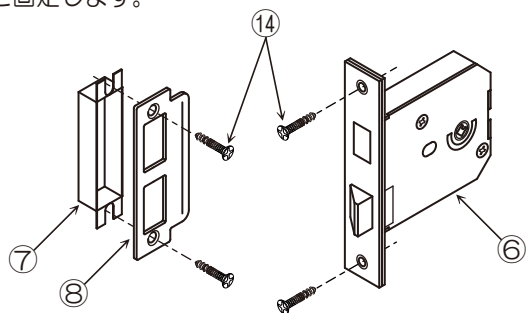


【 2：既存製品の取り外しと、扉への穴、追加加工 】

現在取り付けにある握り玉、錠（取付ビスピッチを確認する）を取り外します。既存の切り欠きを確認してください。
既存の切り欠き穴の中心から扉上部（161 mm）へ、直径 10 mm の貫通穴を追加加工してください（裏面：切り欠き図参照）。

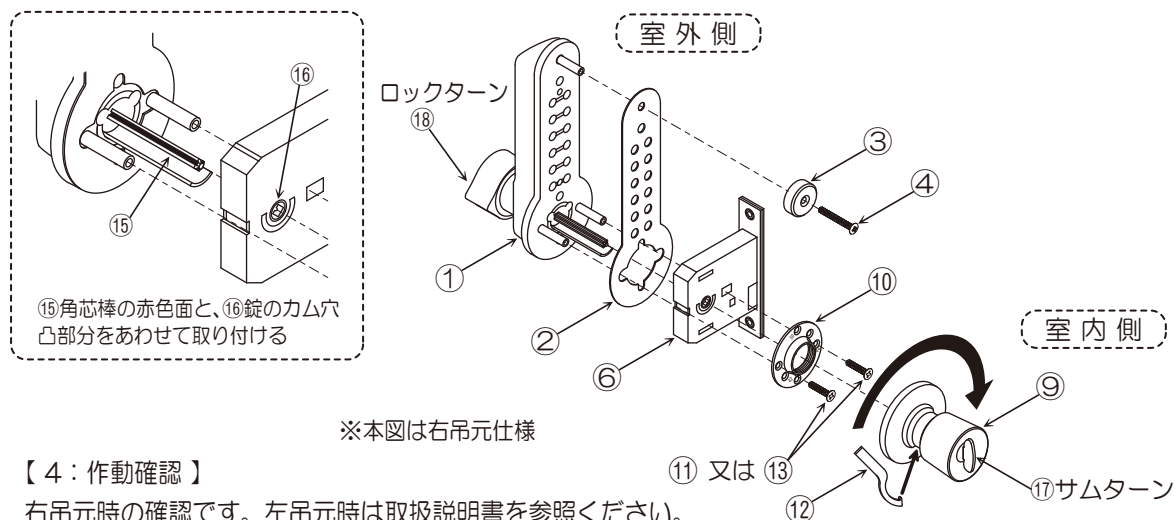
【 3：錠の取り付け 】

⑥錠を扉にセットし、⑭皿コンビねじ 2 本（L=20）で取り付けます。【 錠取付ビスピッチ：110 】
⑦トロ箱と⑧受座をセットし、⑭皿コンビねじ 2 本（L=20）でしっかりと固定します。



【 3：KL 本体と室内座の取付 】

室外側から①キーレックス本体（ロックターンはタテ向き）、②ゴムプレートをあわせ、⑮角芯棒の赤色面と⑯錠のカム穴凸部分をあわせてセットします。
室内側から③室内押え座を④丸皿小ねじで固定します（扉厚 30～40 mm L=30/ 扉厚 40～45 mm L=40）。
室内側から⑩取付板をセットし、皿小ねじで固定します（取付ピッチ 44 mm）。
（扉厚 30～40 mm ⑬皿小ねじ L=20 / 扉厚 40～45 mm ⑪皿小ねじ L=25）
⑨室内側握り玉を⑩取付板にあわせ、時計回りに回して取り付けます。
⑫丸座固定レンチを⑨室内側握り玉の軸にある穴に挿し込み、時計回りに締め付けて固定してください。



【 4：作動確認 】

右吊元時の確認です。左吊元時は取扱説明書を参照ください。

ドアを開けたままの状態でおこないます。

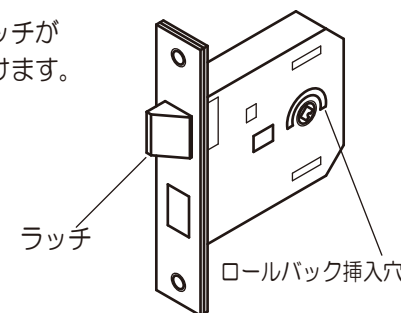
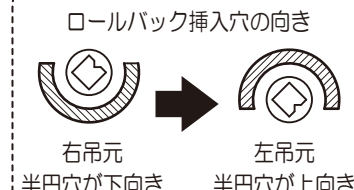
室内側 施錠：⑰サムターンを戸先側に 90° 回し、デッドボルトが飛び出すことを確認します。
解錠：⑰サムターンを丁番側に 90° 回し、デッドボルトが収まることを確認します。
室外側 施錠：⑱ロックターンを戸先側に 90° 回し、デッドボルトが飛び出すことを確認します。
解錠：正しい記憶番号を押します（C ボタンを押してから、記憶ボタンを押します）。
⑱ロックターンを丁番側に回しきり、デッドボルトが錠に確実に収まることを確認します。
⑱ロックターンを戸先側に 90° 回し、⑱ロックターンをタテ向きにしてください（初期設定位置）

※ ロックターンが作動しない場合：記憶番号と角芯棒の取付位置を確認してください。

左吊り元時の変更と確認

【 1：錠：右吊元時と上下を逆にします 】

左吊り元でご使用時は、錠のラッチが上になる様（右図参照）取り付けます。



【 2：キーレックス本体：ロールバックの上下を逆にします 】

本品は工場出荷時、右吊元仕様に設定されています。
左吊元時は、
①本体裏板のねじ（3 本）を外し、裏板を抜き取ります。
②ロールバックを上下逆さに入れ替えます。
③本体裏板を取り付けてねじ（3 本）をしっかりと締め付けます。

